（第二版）（京濱電鐵）（昭和十一年五月五日第三種郵便物認可）昭和十一年十二月二十四日

臺灣昌新華民報 夕刊

十二月二十三日

定價一部一錢

編輯兼發行人 木々佐一

東京市芝區新橋四丁目四番地

臺灣日日新報社東京支局

あす議會召集日

各政黨が勢揃ひ

議員總會を開いて

大いに氣勢をあぐ

【東京二十三日發】第七十議會は愈々二十四日を以て召集されることになつた、二・二六事件の處理を終へたる五月の臨時議會と殆ど同じ顔觸れで、今月は僅か一ヶ月に過ぎないが、この間に於ける政局の動きは實に目まぐるしいものがあつた、即ち廣田内閣の成立と共に、政黨側は内閣の施政方針に對して、或は好意的中立を守り、或は積極的支持を與へ、又或は反對の態度を採つたが、その後廣田内閣は、軍部大臣現役武官制の復活、陸軍の二個師團增設、馬政計畫の實施、北支經營の積極的推進、更に廣範圍に亙る財政經濟の改革等、從來の政黨内閣時代には到底見られなかつた、思ひ切つた政策を次々と打ち出して來たので、政黨側は之等の諸政策に對して、或は反對し、或は支持し、或は修正を加へる等、その態度は實に複雜を極めてゐたが、今回の議會は、これ等の諸政策に對する政黨側の態度が、最も明瞭に現はれるものと見られてゐる、

【東京二十三日發】廣田内閣は二十三日午前十時から總務會、同十一時から閣議を開き、議會に臨むべき態勢を整へた、閣議では、内閣から内務、大藏兩大臣を除く各國務大臣が出席、内務大臣の後任には、後藤文夫氏を推すことに決定した、後藤氏は二十三日午前十時から總務會、同十一時から閣議を開き、議會に臨むべき態勢を整へた、閣議では、内閣から内務、大藏兩大臣を除く各國務大臣が出席、内務大臣の後任には、後藤文夫氏を推すことに決定した、後藤氏は二十三日午前十時から總務會、同十一時から閣議を開き、議會に臨むべき態勢を整へた、

【東京二十三日發】廣田内閣は二十三日午前十時から總務會、同十一時から閣議を開き、議會に臨むべき態勢を整へた、閣議では、内閣から内務、大藏兩大臣を除く各國務大臣が出席、内務大臣の後任には、後藤文夫氏を推すことに決定した、後藤氏は二十三日午前十時から總務會、同十一時から閣議を開き、議會に臨むべき態勢を整へた、

【東京二十三日發】廣田内閣は二十三日午前十時から總務會、同十一時から閣議を開き、議會に臨むべき態勢を整へた、閣議では、内閣から内務、大藏兩大臣を除く各國務大臣が出席、内務大臣の後任には、後藤文夫氏を推すことに決定した、後藤氏は二十三日午前十時から總務會、同十一時から閣議を開き、議會に臨むべき態勢を整へた、

民政の態度は險惡化

稅制改革案は大修正か

【東京二十三日發】廣田内閣は二十三日午前十時から總務會、同十一時から閣議を開き、議會に臨むべき態勢を整へた、閣議では、内閣から内務、大藏兩大臣を除く各國務大臣が出席、内務大臣の後任には、後藤文夫氏を推すことに決定した、後藤氏は二十三日午前十時から總務會、同十一時から閣議を開き、議會に臨むべき態勢を整へた、

【東京二十三日發】廣田内閣は二十三日午前十時から總務會、同十一時から閣議を開き、議會に臨むべき態勢を整へた、閣議では、内閣から内務、大藏兩大臣を除く各國務大臣が出席、内務大臣の後任には、後藤文夫氏を推すことに決定した、後藤氏は二十三日午前十時から總務會、同十一時から閣議を開き、議會に臨むべき態勢を整へた、

朝の四時まで奮闘

鹽見事務官は昨日歸任

【東京二十三日發本社特電】豐原米作檢查終了後、檢查に關しては財務當局の昨日來の噂に上つてゐた鹽見事務官は、二十三日午後一時半、豐原驛發の列車で歸任した、鹽見事務官は、檢查終了後、豐原驛發の列車で歸任した、鹽見事務官は、檢查終了後、豐原驛發の列車で歸任した、

【東京二十三日發】政府は二十二日の閣議で、今回の臨時議會の改正法案を左の如く決定した、

一、臨時法第一條の召集期を二十日に短縮せんとする附帶決議を臨時法の改正を要するにつき同じく明年早々開會に御協賛の手續を執り、衆議院解散に關する件と同時に議院法改正案を提出し今議會より即時實施する、

二、臨時法第一條の召集期を二十日に短縮せんとする附帶決議を臨時法の改正を要するにつき同じく明年早々開會に御協賛の手續を執り、衆議院解散に關する件と同時に議院法改正案を提出し今議會より即時實施する、

三、臨時議會期間延長の件は議院法の改正を要するにより至急改正案を得て明年早々開會に御協賛の手續を執り、衆議院解散に關する件と同時に議院法改正案を提出し今議會より即時實施する、

危局挽回を期す

汪精衛氏が聲明

【上海二十三日發同盟】國民政府の招電に接した汪精衛氏は二十二日午後南京に向け上海を發つた、支那は將に内外ともに重大なる危局に直面せんとしてゐるが、吾人は飽くまでその安全と自由の回復に努力すべく、余は中央の招電に接したので即日南京の途に就けり、精衛の上は同志と心を合せ一致努力この危局を挽回せんことを期す

汪精衛氏が歸國

ゼノア出帆 上海へ向ふ

【ゼノア二十二日發同盟】政府の風雲を孕んで愈々開かれる議會を控へた廣田内閣の施政方針演説に關聯して注目の的となつた汪精衛氏については、【東京二十三日發】政府は二十二日午後ゼノアを發つた汪精衛氏は二十二日午後ゼノアを發つた汪精衛氏は二十二日午後ゼノアを發つた汪精衛氏

一千二百の園兒達がけふ奉祝旗行列

總督府前廣場で擧式

日の皇子祝ひの日

二十三日は皇太子殿下の御誕生日にあたり、國旗掲揚をあげての奉祝日として全國各地で祝賀の催しが行はれ、「日の皇子の誕び日」として年毎にこの日の感激を新らたにしてゐるが、臺北市では、皇太子さまの御誕生を奉祝しまた双葉のうちから無限の發展に期待をかけ給ふ意味で、市内幼稚園兒の奉祝旗行列を行つた、これに先き立つて午前八時小林總督夫人、山縣内務局長夫人、その他警察關係は各官舍に正式參拜、學校關係は各學校に參拜した

參拜し

二十三日臺北市民が待ちに待つた日の丸の旗をかざし、各自幼稚園に出て盛大に擧行された奉祝會前に集合「君が代」の齊唱に續いて「日の皇子の誕び日」の大合唱に興じたなごやかな御祝ひを終つたが、臺北市では、皇太子さまの御誕生を奉祝しまた双葉のうちから無限の發展に期待をかけ給ふ意味で、市内幼稚園兒の奉祝旗行列を行つた、これに先き立つて午前八時小林總督夫人、山縣内務局長夫人、その他警察關係は各官舍に正式參拜、學校關係は各學校に參拜した

寫眞

(1)園兒たちの奉祝に萬歳三唱する小林總督(2)右から小林總督夫人、山縣内務局長夫人(3)園兒たちの奉唱

二十分、小春日和の陽をうけて臺北市内を行進した、午後からは、奉祝會場(各官舍)に集合、「君が代」齊唱に續いて萬歳三唱して奉祝式を終了、それより各園別に市民歌「一千三百人に觀艦を配つた

兒一千二百は手に〳〵日の丸の旗をかざし、各自幼稚園を出て總督府廣場(各園別に集合「君が代」齊唱に續いて萬歳三唱して奉祝式を終了、それより各園別に市民歌「一千三百人に觀艦を配つた

二十分、小春日和の陽をうけて臺北市内を行進した、午後からは、奉祝會場(各官舍)に集合「君が代」齊唱に續いて萬歳三唱して奉祝式を終了、それより各園別に市民歌「一千三百人に觀艦を配つた

二十三日臺北市民が待ちに待つた日の丸の旗をかざし、各自幼稚園を出て總督府廣場(各官舍)に集合「君が代」齊唱に續いて萬歳三唱して奉祝式を終了、それより各園別に市民歌「一千三百人に觀艦を配つた

臺北市尹勅任陞格が閣議で正式決定

助役増員も見事にパスし久しい市民の念願かなふ

二十方臺北市民が久しい間望んでゐた市助役増員、助役一名の増員が閣議の決定をパスして廿一日の閣議で正式決定、勅令に上程される運びになつた、大物の市尹さんにどつしりと腰を落つけて仕事をして貰ふ我人的な多忙さから助役さんを欲しい市尹の女房役として萬全を期して臺北市會議員時代からぱく市尹勅任陞格と助役の増員を市會が叫びその筋に陳情を續けて來たのであるが、本年の市會では一致の決議を以てその筋に陳情を續けて來たのであるが、本年の市會では一致の決議を以て

提出し

一方内務局でもその必要を認め本年度から地方費に計上しつづけて來たが八、九年度は財務局で、十一年度は大藏省で何れも削除の憂目に遭つた地方費の改正された今日是が非でもと大いに頑張つたものである、十二年度こそはと多數の一致で提出されたもので五年目に漸く實現の運びとなつたもので

俸給を

一躍四百圓上げるに要する費額もパスしたので臨時十月から臺北市をはじめ各島主なる五市の市尹の俸給は一齊に向上する運びになつた

各方面の御蔭力に對し感謝

石井市尹談

右に就き石井臺北市尹は語る

二十方市民の一致した熱心な陳情運動に依る臺北市尹が勝手的で地盤のできつつある臺北市尹が勝手的で地盤のできつつある臺北市尹が勝手的で地盤のできつつある臺北市尹が勝手的で地盤のできつつある

短い日足も道理きのふは冬至

斜陽も穏かに新春近

郁達夫氏今夜ホテルで講演

島内滞在日程も決定

二十二日の朝月で來台した郁達夫氏は二十三日後七時半鉄道ホテルに於ける本社(支局)主催の講演會に於いて「支那文學について」と題し講演をすることになつてゐるが二十四日は台北を發し二十五日南下の豫定で親戚訪問に廻る、二十五日午前九時五分台北發急行で南下、台中を視察して嘉義へ(※)

△二十六日 嘉義發阿里山へ(※)

△二十七日 阿里山發高雄視察(※)

△二十八日 安平、鳥山頭視察

△二十九日 高雄出發の關釜丸で歸台

對外航空路の計畫實施に協力

來年度に總督府が

【東京二十三日發本社支局特電】用務の繁忙に鑑み從來の慣例を破つて今回は内地出張を許可することとなつたが、これを機會に對外航空路の實現に關する懸案の解決に努力したいと語つた、

横濱から布哇まで一氣に飛べる飛行艇

日本空輸が購入

【神戸發航空電話】既報日本航空輸送會社が米國加州サンタモニカのダグラス飛行機製作所より購入した空のモンスター・ダグラスDF型旅客六人乘飛行艇は二十一日神戸に到着、荷揚げした、この飛行艇は全長九十五呎、翼二十一呎、エイロット二名、機關士兼航空士一名、旅客二十二名を收容、價格二十万圓、航續距離は三千五百哩で一度に横濱から布哇まで一氣に飛んで行ける、なほ同社では目下新竹飛行場で取扱中、尚ほ同社では北回航路の開拓を目的として

市バスの不正事件取調べ、一段落

けふ三名を司法へ

去る九月頃より來臺中の田舎警部補ら數名の視察團を迎へて來た市營バス及びその御案内人を繞る收賄事件は既に關係者十三名を檢擧したが、廿三日迄に三ノ三、新起町一ノ三金物商陳慶生、太平町二ノ四二目醫業服販賣業許生(ヨシノ)以上全部關係者を加へ收賄罪で檢擧局、商務署には關係者二名、留置取調べを受けて居るが數日中に檢擧される筈で、事實が現はれない限り事件は一先づこで一段落を告げるものと見られる

撞棒でなぐり重傷を負はす

【臺北電話】二十二日夜九時半頃十分新竹街新竹町二ノ三六撞球場許生方で時ならぬ喧嘩、物を投げる音に驚いた隣人の一人が駆けつけて見ると、同所で撞球を楽しんでゐた新竹市内の青年數名が、何事か口論の末、一人が撞棒で滅多打ちに殴りつけたので、殴られた青年は頭部に重傷を負ひ、附近の病院に運ばれたが、生命には別條ないとの事である、犯人は逃走中で、新竹署では目下捜査中である

勝田氏庭球協會長に就任

【東京二十三日發本社特電】日本庭球協會の改組問題は會長に推薦された勝田永吉氏の受諾保留のまゝ行き悩みとなつてゐたが二十二日午後突如勝田氏に有力候補者を集め懇談會を開いた結果この際新人を擁して一致邁進、庭球界の進展を圖るべきだとの意見が滿場一致、勝田氏の手腕を買ひ會長に推薦することに決した

明大野球團試合の入場券前賣を開始

今回から指定席を設置

メガホン塔

狩獵家へ福音

吉報も我の狩獵に入る各地の猟犬狗出の競と譜所に優物を求めて出かけるのであるが之に要する費用には相當苦勞を要して居たのであつたが今回狩獵者のサービスとして有難度の期日を断行するとの狩獵犬の取扱について狩獵者にとつては大なる福音である、其の要項は左の通である

一、期日は狩獵期間中に限ること

二、乘車券發賣所の際所轄警察署長發行の證明書を提出し銃猟免狀を呈示すること、尚狩獵中でも呈示すること

三、百斤以上の荷物を託送乘車せぬと同時がない

四、鉄猟者と認め得べき服裝なること

五、此の期日は交通局と運送業者とも適用される

六、猟犬は從來一人につき一頭に限られ其の運送賃が二百四十銭内外であつたが此の制限は全然撤廃された

臺灣全土

醫院

本場 斗椚矢野商店

樂器 山葉オルガン

時計眼鏡 メガネ專門は和田

料理屋 正月用 辨金本家

金融 商品券債券電話

履物 大藤商店

雜件 コークスと木炭は

臺日案內

書籍 常用語辭典

旅宿

病人の食物

ガユ、重湯、牛乳、玉子 以上 末粉 三立 病醫院御採用 試食品 進呈 藥店にあり 大阪市西區阿波座一 佐屋商店

月のあはれ

新春に贈る傑作篇

唄 霧島みどり 西條八十先生作詞の美しき流行歌!

夕陽の果に

林伊佐緒唄

ドーコレンド

舞踊小唄名曲集

一切迫る!

佐々紅華新作、各舞踊大家振付の權威盤です。聽くにも踊るにも!

■十吋盤二枚毎月配布 全十二枚六ヶ月完了

■發約期間 十二月卅一日迄

■豪華アルバム贈呈

■振付解説書つき

■會費毎月金三円也

詳細は最寄特約店にて御照會下さい

アビムロコ

流行歌

浪花節

吉田奈良丸集 大石誠之助 大石山雀 大石御幸 大石生立 (他)

天中軒雲月集 (其)

廣澤虎造集 (他)

酒井雲集 (他)

買ひ易いレコード

各種實價ケース入

五十銭 レコード

ニットー大衆盤

日光印ペン

ノーシンは胃腸をこわさぬ頭痛藥

全自動電氣洗濯機

103圓

45円

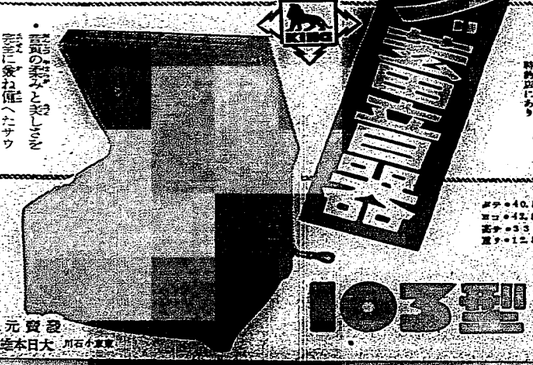
新發賣

家中揃つて素晴しい音樂が味へる御家庭に理想的のキング卓上型

瀟洒な意匠

堅牢な構造

價格の至廉



今晩の映画
●新世界館 ●芳乃館 ●國際館

御殿女中（140）

（第二十上回）

邦枝完二作
神保朋世画

夜風（十）

銀蔵「お万を作って、銀さんと添すなんざあの家へ入りいだのは、それから間もない後だった。お万はさすがに隅の方へ小さく坐っていたが、お竹は初めから平然として、銀蔵の酒の相手をしていた。

「銀蔵、どうか御勘弁なくちゃいけませんよ。家ちゃ、ごんすが、あたし一人の気ままに住居、勝手もいろいろ、ちゃアごんせん——さア銀さん、お前さんからも、よくお銀さんに申上げなきゃいけないやないか。」

「ウふゝゝ銀さん、銀座のいゝ処を振り捨てゝこれぱかりいゝやくいたしませんからこっちへ寄つて、おくつろぎなつておくんなさいまし。」

「ねい。——でも。——」

「なんですねえお銀蔵、銀蔵はおどうさんにそっくりだから、何んとこうたつてそうぐずぐずしちゃいけないやないか。」

「ヘタヘタへ、いけないと銀さん。お銀さんは銀座さんなんだから、何んとこうたつてそうぐずぐずしち

關稅全體改正
如大藏原案可決
加昇七百五十四

東京二十三日電。稅制改正案。此回稅制改革。產組課稅問題所關稅制度。全盤改正所關稅調查委員會。二十二日午後。開之九內中央會議所。質問其時提出案議會之關稅改正綱領特別四件中。複關稅新設之件。關稅適用品目。追加而外。並將削除附議案協會之事修正。照大藏省原案可決。其他關稅率改正。稅率未會部分。

昭和十一年十二月二十四日

議院制度調查總會
政府對付實行方針

東京二十三日電。政府以二十二日議院制度調查會總會。既如所報。決定答申案。明春匆々。必要設法。達成趣旨。其實行方針如左。

一、議（十一月中半召集之件。止於變更議會召集院關從來之慣行。故自明年度通常議會實施一、豫算審查期間延長件議院法要改正。至急得改正案明年匆々。奏請垂詢樞府。與豫算審查期間延長件。提出議院法改正案自今議會。即時實施。

二、議院法第一條諸書公布至召集之期間。短縮爲二十日之附帶決議。

母性保護聯盟懇談會
母子保護法通過後
第二段運動協議

東京產業組合。婦女新聞如左。

▲第一條中。所需扶助如有子十三歲以下之母更改爲十五歲以下。

▲第二條中。「窮迫事情」之中。加入爲災放逸。不問妻子之時。

▲第三條中。廢扶助機關之方面委員。特設母子保護委員。不得已之時專任婦人方面委員。

▲第七條。費用之負擔。悉由國庫負擔金額。決定後以議會開會在前。同五時散會云。

基督降誕祭
市內行事

來二十五日基督降誕祭。各地有種々催物。而盛北市內。二十四、五兩日。有左記行事。

一、組合基督教會。二十四日下午六時半。在同教會。以兒童爲中心。有兒童劇。讀美歌合唱等。爲祝基督降誕前夜。

一、聯合會。二十五日午前十時。一般信者拜祝。下午六時半。在鐵道旅館餘興場。有日曜與校之祝賀會。

一、メソジスト教會。二十五日下午六時半。在昭和町教會。由教會。日曜新營街新營陳朝清自動車商會雇人。竊取乘車百數十圓。以外尚有竊盜詐取乘車券二百圓密賣。及現金二十圓。以外尚有竊盜詐取乘車券四出偵查。是晚岩本張兩刑事。於西門町二丁目。發見右竊報盜之車。立將其人拘捕。解署訊問。供現留置究辦。

電線落下
村婦觸電死亡

月十八日下午澎湖馬公街文澳鄉人蔡班氏豆。於附近園中耕作。會電線落下不知注意。致觸電死。其夫聞知。欲往救援。亦險被害。聞者皆爲心傷。

詐取未遂
暴露餘罪

嘉義市白川町四十九番地柯規煌。年二十二。去十五日午後四時。到嘉義郡水上庄十二指厝。六七番地三秦米工場。詐稱爲東石郡鹿草庄鹿草六九財產家林兜先三男林清風。年二十約資粟二百斤。三秦支出三十圓爲定頭金。是時適同庄竹子腳貨物自動車運轉手林辛酉。對三秦謂此人非林兜先之子。三秦遂騰將三十圓取回。現煌因事暴露。懼罪逃走。後被水上庄南靖派出所員捕入警察課。由嘉甲。黃、兩刑事以詐欺未遂罪訊問。不意一方移轉豫定之樹子腳父兄已聲明寄附校地等。實則追究後不然。蓋附近地主頑固者有。係當地某保正。據該保正談云。余全未接到學校何等交涉。僅數月前。問余地價幾何。余答以現時價。每甲約千六百圓左右。並不觸及其他。苟欲用爲校地。盡可酌商。豈校之設立之理。又所有校舍之移轉。於樹子腳。乃爲中心點者。更屬悖謬。以地圖測之。或以住家推之。七十二分。較勝於樹子腳萬々。將就學兒童計。余全校二百八十六名。額三十萬噸。現已收九萬八千四百九十張。亦告不足。有增發之計畫云。

反對產組課稅
十一縣會既議決
勢更波及他府縣
加昇七百五十四

東京二十三日電。此回稅制改革。產組課稅問題所關產業組合中央會。暨所屬各府縣會。表明課稅絕對反對之態度。方全國的運動。而期明春一月。招集產業組合緊急全國大會。決定傾注全力對議會工作。遞進阻止。其在地方。洞察會開會之機。各自運動反對。本月九日。既於千葉縣會。議決產稅反對意見書。決定。之趨理。內務。大藏各大臣陳情。此等空氣。勢如長野、德島、群馬、青森、高知、富山、秋田、岐阜、山梨、宮城十一地方縣會。皆議決產組課稅反對意見書。波及全國各府縣會云。

薦田中南兩氏
爲樞密顧問官
二十二日親任式舉行

東京二十三日電。樞密顧問官。現在缺五名中。政府決定補充二名。經放田首相。平沼議長之間。協議結果。決定爲元文相田中隆三。元遞相南弘兩氏。二十三日。內奏請得御批。即日廣田首相侍立。舉行親任式如左。

任樞密顧問官（各進）
正三位勳一等　田中　隆三
同　南　弘

臺灣茶共販
評議員會

臺灣茶共同販賣所。近來委託數甚多。逐年激增。每屆產出期。一時麇至。現在倉庫。已不能收容。且事務所覺狹隘。早晚必要擴張。爰訂二十四日午後一時々會集評議員約二十名。在同共販事務所。開評議員會。附議事務所及倉庫移轉所關件。然後提出于總會云。

汪兆銘氏
乘意國出帆船
望滬而發

南京二十二日電。二十二日行政院會議。午前九時開會。對張學良。硬軟兩論勸導。決定疑宋子文。宋美齡夫人。及閻錫山氏。居中調停之結果。暫保留中央一致團結。漸見進步。今也。西安突起兵變。蓬塞進步之途。願中國有轉機。蔣介氏之切者。吾人必欲努力恢復其安全與自由。余接中央招電。即日就歸國之途。歸國之後。期與同志和心。一致努力。挽回危局。

汪兆銘氏
聲明

上海二十二日電。汪兆銘氏。接國民政府招電。二十一日。已發香港。就歸十一日之途。即日致電中央通電。大要如左。

期與同志
挽回危局

最後決定暫行保留
陝西省政府歸直轄
行政院會議爲諸人調停

南京二十二日電。二十二日行政院會議。午前九時開會。對張學良。硬軟兩論勸導。決定疑宋子文。宋美齡夫人。及閻錫山氏。居中調停之結果。暫保留中央一致團結。漸見進步。今也。西安突起兵變。蓬塞進步之途。願中國有轉機。蔣介氏之切者。吾人必欲努力恢復其安全與自由。余接中央招電。即日就歸國之途。歸國之後。期與同志和心。一致努力。挽回危局。

蓬萊標準粟
查定發表

農林省臺北米穀事務所。欲備米穀自治管理法發動時之用。日前開昭和十一年第二期蓬萊標準粟查定會。去二十一日。農林省。

蔣介石氏健全
臺灣華僑接到復電
對於戡平叛亂之電請

既報去十八日。臺灣中華總會館。電請中央政府討伐張學良、去二十二晚。該會館接南京中央宣傳部復電。略稱電悉中央。已下令討伐。亂事不日可平。又訊宋子文氏前日飛往西安進行妥協工作。二十一日下午。回南京。報稱蔣委員長身體健康。精神安好。又於翌日上午。偕同蔣夫人飛往西安。

中州馬產
籌設大牧場
由農會經營

臺中州當局。依督府馬產方針。擬自明年度起。爲五年計畫。投四十五萬圓。於臺北市內。幼稚園兒童。年前十時半。招集千二百名。在總督府前。舉行奉祝旗行列。是日石井市尹臨場。三唱萬歲而散。

幼稚園兒
奉祝旗行列

高雄歲暮市況
意外活氣
抽籤券增發

高雄市歲暮氣氛。因農村豐收反映及人口自然增加比例年加一厘活況。對聯合大賽出會抽籤券。引換締至十七日。收回二十二萬三千八百九十七張。對當初發行額八十五萬張。將見不足。振興發一三萬張。一面銀座街大實出。發行額三十萬張。現已引換九萬八千四百九十張。亦告不足。有增發之計畫云。

冬密事件
公判續誌
辯護士之追問

高雄州下增加學級
決定最少百廿學級
新設六校擴充初等教育

東第二公學校。其他實業學校四校。此等所要經費。共計上百二十六萬五千圓。又爲圖徹底普及國語計。將改善國語講習所內容。即從配置專任職員。已經費亦已計上云。

御誕辰記念日
學祈願祭

花蓮港街役場。去二十三日。爲奉祝皇太子殿下第三回御誕辰。於是日午前九時。在花蓮港神社。盛設高雄第二公學校。及其他學校。參拜者各三名。有事實二。一、故信爲本件之根本的事實。被告各三名。有事實二。一、故信爲本件之根本的事實。被告各三名。有事實二。一、故信爲本件之根本的事實。被告

臺灣日日新報
日本夕刊十六頁
社長 木村佐人行設會編輯
電話第五百廿四番 臺北市本町
社報新日日新聞 所行設會 電話第一〇〇番 臺北市役所

教育界唯一の全鳥瞰圖　何はおいても手元に一冊

推奨

文部省普通学務局長 **菊池豊三郎**

凡百の機構も教育を以て之の根底たらしめなければならぬ。教育に対し深き関心を払ひ、清貧なる信念に基く教育の振興に努力することは国家百年の計を樹つる所以と云ふべきである。教育の事が尊重せらるる為には、教育者が尊重せらるる資格に値する様に、教育の要旨たる配列、要素にして正確、而も新鮮明瞭なる内容は正に必ず之を取り揃へられるのである。教育関係者は云ふ迄もなく政治家、行政官、実人、実業家、評論家、ジャーナリスト等、一般的知識に立つ人々に対し、この斯的的自習を受けつつあるこの本書を座右に備へられんことを切望する。

愈々發賣

内容見本進呈

四六判・美装本文・七五〇頁
定價貳圓 送料十四錢

目次
巻頭言 文部大臣 松田源治
教育と政治 前文部大臣 田中隆三
教育と宗教 前文部大臣 岡田良平
教育と国民思想 貴族院議員 阿部重孝
教育と国民生活 衆議院議員 佐藤寛次
教育と国民経済 貴族院議員 菊池豊三郎
教育と国民道徳 貴族院議員 宮島幹之助
教育と国民体育 貴族院議員 永井柳太郎
教育と国民娯楽 貴族院議員 下村宏
教育と国民保健 貴族院議員 後藤文夫
教育と国民外交 貴族院議員 松本学
教育と国民産業 貴族院議員 石黒忠篤
教育と国民信仰 貴族院議員 安藤正純
教育と国民文化 貴族院議員 大口喜六
教育と国民教化 貴族院議員 木村小左衛門
教育と国民自治 貴族院議員 木下信
教育と国民協同 貴族院議員 有馬頼寧
教育と国民組織 貴族院議員 鳥居信平
教育と国民訓練 貴族院議員 大口喜六
教育と国民精神 貴族院議員 安東義良
教育と国民思想 貴族院議員 白石喜太郎
教育と国民生活 貴族院議員 木下立安
教育と国民経済 貴族院議員 岡田文秀
教育と国民道徳 貴族院議員 岡田和一郎
教育と国民体育 貴族院議員 奈良武次
教育と国民娯楽 貴族院議員 永井柳太郎

政民、陣容を整備

政戰の雲行き尠ならず

時局と第七十議會

政友會

民政黨

一時期を劃した督府豫算

國境を繞る内外の大膨脹

外交問題で懇談會

樞府側から質問や鞭撻的意見出づ

外相の報告に對して

外地の稅制改革

全體で八百萬圓增收

學良討伐を決議し國府の結束強化

緊張した中央政治會議

學良との妥協に傅作義氏が出馬

閻錫山氏の斡旋で

國民精神の作興と國防施設に重點

森岡長官豫算を說明

滿洲國の大官に勳章を御下賜

畏き邊りより御沙汰

反政府的態度表明

永井民政幹事長の演說

廣田内閣を打倒

社會大衆黨の由

議會政治を振肅

鈴木政友會總裁の挨拶

天機、御機嫌奉伺の電報

總督が宰皇

今年の最大事件

米國聯合通信の觀測發表

佛の目標は獨、伊

海軍參議官會議で決定

C級巡洋艦を英は五隻保有

日、米兩國に通告

不干涉工作に列國は躍起

西國封鎖の形勢

召集日の兩院

石黑顧問官辭表を提出

國民同盟も態度强硬

朝鮮

滿洲國で鹽とマツチを專賣

航空保險認可さる

來春早々開業

シナチク

賀茂鶴　酒造　新發賣　絶對ニ防腐劑ヲ　(三一ニ)　賀茂鶴酒造株式會社　白鶴ルリ　清酒　白鶴酒類販賣會社　台北近傍　外科　性病科　眼科　婦人科　レントゲン科　梅野醫院　院長　梅野甚吉　台北市新富町三丁目二五番地　電話二六番　廣告　來ル十二月二十五日ヨリ東海バス花蓮港蘇澳間運行時刻ヲ左ノ通リ改正致候　上リ　下リ　一號便　二號便　三號便　南澳線　上リ　下リ　其ノ他詳細ハ鐵道各驛營業所及當北案内所ニ掲示致候　昭和十年十二月八日　東海自動車運輸株式會社　本社　花蓮港支社　蘇澳出張所　台北營業所　台北出張所　電話二五一番　花蓮港支社　蘇澳出張所　台北營業所　台北出張所　電話二〇二番　案内所　電話二〇四二番　ダンスホール　羽衣會館　門町　本日夕刊共十六頁　クリスマス　大舞踏會　當夜は…　森屋　廿九日歸臺　森屋　廿五日…　不干涉工作に列國は躍起　召集日の兩院　航空保險認可さる　來春早々開業　石黑顧問官辭表を提出　朝鮮　滿洲國で鹽とマツチを專賣　シナチク　國民同盟も態度强硬　廣田内閣を打倒　社會大衆黨の由　天機、御機嫌奉伺の電報　總督が宰皇　今年の最大事件　米國聯合通信の觀測發表　佛の目標は獨、伊　海軍參議官會議で決定　C級巡洋艦を英は五隻保有　日、米兩國に通告　外交問題で懇談會　樞府側から質問や鞭撻的意見出づ　外相の報告に對して　外地の稅制改革　全體で八百萬圓增收　學良討伐を決議し國府の結束強化　緊張した中央政治會議　學良との妥協に傅作義氏が出馬　閻錫山氏の斡旋で　國民精神の作興と國防施設に重點　森岡長官豫算を說明　滿洲國の大官に勳章を御下賜　畏き邊りより御沙汰　反政府的態度表明　永井民政幹事長の演說　廣田内閣を打倒　社會大衆黨の由　議會政治を振肅　鈴木政友會總裁の挨拶　政友會　民政黨　政戰の雲行き尠ならず　時局と第七十議會　政民、陣容を整備

十三年度からマッチ專賣實施か

ビール、砂糖も考慮

【東京特電】大藏省では、十二年度豫算編成のため初年度二億四年度二億四年度二億四